

豊岡市民会館リニューアル基本計画（案）に対するパブリックコメントに寄せられた意見と市の考え方

1 募集期間 2025年12月25日（木）～2026年1月14日（水）

2 意見件数 1件（1人）

3 意見と市の考え方

番号	意 見	意 見 に 対 す る 市 の 考 え
1	<p>現在進められている「40億円をかけた機能維持」という計画は、ハード面の整備に偏っており、施設をどう活用するかという本質的な議論が不足していると感じています。単なる現行利用者の要望の延長ではなく、以下の順序で議論を再構築し「基本計画」に盛り込むべきと考えます。</p> <p>1. 理念の定義：将来の豊岡市にどのような機能が必要で、それが市民生活をどう豊かにするのか。</p> <p>2. 社会包摂の視点：文化芸術の持つ「創造性・多様性・平等性・協働性」を活かし、誰もが尊重され安心して暮らせるまちづくりにどう繋げるのか。</p> <p>3. 分野横断的な連携：「いのちへの共感に満ちたまちづくり条例」を掲げる市として、教育や福祉の側面からも施設の役割を検討する。</p> <p>公共が税金を投じて運営する以上、まずはこうした「公共ホールのあり方」を改めて広く議論し、その目的を果たすための「手段」として物理的な箱もの（ハード）整備を実施するのが自然な流れではないかと考えます。</p>	<p>新文化会館を整備するにあたり、2018年度に設置した「豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会」をはじめとし、ワークショップやシンポジウムの開催を通じ、「文化会館に望む新たな役割・機能は何か」「現在の市民会館で果たせていないことは何か」について市民の皆さんと議論を積み重ねてきました。</p> <p>市としましては、文化会館機能の確保の手段を新築から改修へ方針転換を図る中で、今までの議論を無駄にすることなく、基本理念等を踏襲し、新築により実現しようとしていた内容を可能な限り反映させることを念頭に本計画の策定を進めてきたところです。</p> <p>また、本計画は、豊岡市民会館リニューアルの「整備の大きな方向性」を中心に示すものであることをご理解いただければと思います。</p> <p>以上のことから、本計画の策定を「「公共ホールのあり方」を改めて広く議論することから始める」ということは考えておりません。</p> <p>なお「社会包摂の視点」や「分野横断的な連携」、それらを通じて市民生活を豊かにしていくという観点は、文化会館の整備にとどまらず、市の文化芸術政策全体に不可欠なものであると言えます。いただいた貴重なご意見を踏まえ、今後の市の文化芸術政策を推進して参りたいと考えています。</p>